

専門職としての校長像の確立へ

—— 現在、日本では「学校の自主性・自律性の確立」を目指す教育改革が進展している。それに伴い、校長は従来以上に、学校経営の最高責任者としての確かな専門的力を求められつつある。このような状況を踏まえ、本学会は、**校長職を高度の専門性を備えた専門職として確立することが必要である**と強く認識するものである。

—— 具体的には、学校経営に責任を負う専門職として校長職にどのような力量が必要であるか、そのような力量を備えた人材をいかにして育成すべきか、などについて議論を重ねてきた。

ここに提示する「**校長の専門職基準〔2009年版〕**」は、以上の議論を踏まえながら、校長職を専門職として確立することを目的として、求められる校長像とそこで必要とされる専門的力の構成要素を示そうとするものである。

—— 本学会は以上のことを踏まえた上で、いま求められるべき校長像を「**教育活動の組織化のリーダー**」と捉えるべきだと考える。それは、あらゆる児童生徒のための教育活動の質的改善をめざして、児童生徒、教職員、ならびに保護者・地域の実態を踏まえながら各学校が今進むべき針路を明確にし、当該学校が擁する様々な資源・条件等を有効に活用することによって学校内外の組織化をリードすることである。

これからの校長像を支える7つの基準

①学校の共有ビジョンの形成と具現化

校長は、学校の教職員、児童生徒、保護者、地域住民によって共有・支持されるような学校のビジョン*を形成し、その具現化を図る。

*「ビジョン」とは、目指すべき将来像であり、近い将来に実現すべき価値を意味する。

②教育活動の質を高めるための協力体制と風土づくり

校長は、学校にとって適切な教科指導及び生徒指導等を実現するためのカリキュラム開発を提唱・促進し、教職員が協力してそれを実施する体制づくりと風土醸成を行う。

③教職員の職能開発を支える協力体制と風土づくり

校長は、すべての教職員が協力しながら自らの教育実践を省察し、職能成長を続けることを支援するための体制づくりと風土醸成を行う。

④諸資源の効果的な活用

校長は、効果的で安全な学習環境を確保するために、学校組織の特徴を踏まえた上で、学校内外の人的・物的・財政的・情動的な資源を効果的・効率的に活用し運用する。

⑤家庭・地域社会との協働・連携

校長は、家庭や地域社会の様々な関係者が抱く多様な関心やニーズを理解し、それらに応えながら協働・連携することを推進する。

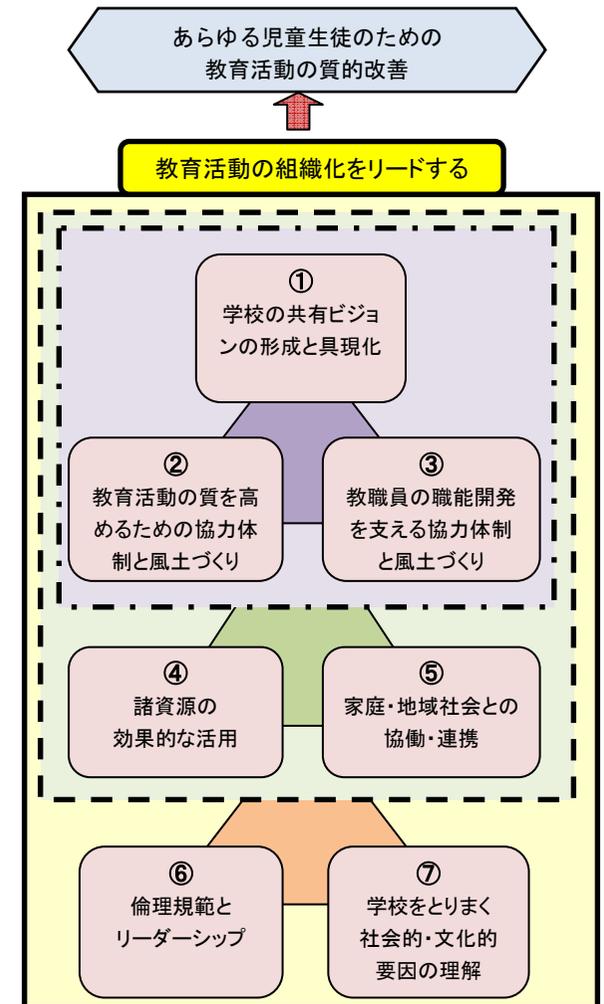
⑥倫理規範とリーダーシップ

校長は、学校の最高責任者として職業倫理の模範を示すとともに、教育の豊かな経験に裏付けられた高い見識をもってリーダーシップを発揮する。

⑦学校をとりまく社会的・文化的要因の理解

校長は、学校教育と社会とが相互に影響し合う存在であることを理解し、広い視野のもとで公教育および学校を取り巻く社会的・文化的要因を把握する。

7つの基準の構造



本基準の活用方法

—— 本基準は、校長候補者から現職校長までを含む各キャリア・ステージに即して、それに関係している様々な人や機関等によって次のように活用することができるであろう。

- (ア) 将来の校長を目指している者が、自分自身の力量のありようを見つめ直し、課題を明確にする拠所として。
- (イ) 校長候補者を対象に教育委員会・研修センター等で実施される短期的な研修プログラムを開発する際の枠組みとして。
- (ウ) 校長の養成をねらいとする大学院教育のカリキュラム開発あるいは授業づくりのための共通基盤として。
- (エ) 校長の選考・採用時における評価基準の作成における枠組みとして。
- (オ) 現職校長を対象に教育委員会・研修センター等で実施される短期的な研修プログラムを開発する際の枠組みとして。
- (カ) 現職校長が自分自身の職務遂行のあり方や自身の力量のありようについて振り返り、見つめ直すための拠所として。

- ★ このリーフレットは、「校長の専門職基準〔2009年版〕—求められる校長像とその力量—」の概略を紹介するためのものです。本文は、日本教育経営学会のウェブサイトから無料でダウンロードすることができます。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasea/>

- ★ このリーフレットについてのお問い合わせは、下記の日本教育経営学会事務局まで、お気軽にどうぞ。

日本教育経営学会事務局

Eメール jasea09-jimu@human.tsukuba.ac.jp
電話・FAX 029-853-6742（浜田）
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学教育学系学校経営学研究室気付

校長の専門職基準

〔2009年版〕

—求められる校長像とその力量—

《概略版》

2009年6月6日

日本教育経営学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasea/>